

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Will		
○保護者評価実施期間	2024年12月12日 ~		2024年12月12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34 (回答者数)	23
○従業員評価実施期間	2024年12月12日 ~		2024年12月12日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	集団療育と個別療育を行っており、児童の成長や特性に合わせた療育内容を提供できる。	療育内容に関して、専門職の意見を取り入れる事により、様々な視点からのアプローチを行うように取り組んでいる。	今後も研修会への積極的な参加や、事業所内研修で職員の知識、スキルを高めていく。
2	支援プログラムが固定化しないように、5領域を基に専門性を取り込んだプログラムを行っている。	月に1度プログラム内容に関して支援者が集まり、通所中の児童に特性や成長にあったプログラムを決める会議を行っている。	各支援者が研修や自己研鑽により学んだプログラムを、更に当事業所にあったやり方で実践していく。
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	常に職員が児童を観察できる状況ではない。	プログラムを行っている間やトラブルがあった際に、支援者の目が行き届かない時がある。	新たな職員の採用や、現職の職員のスキルを高める事で、児童を観察や関わる時間を増やして、より良い環境を作っていく。
2	家族に対しての研修会や家族支援プログラムの情報提供ができていない。	研修会やペアレントトレーニングなどの講師を行うための外部連携が必要。	職員が講師を行える研修の機会を設けたり、外部連携を行い講師を派遣してもらい、開催の機会を設けていく。
3	保護者会の開催など行えていないので、保護者同士の交流の場の提供ができていない。	事業所と保護者との連携は行えているので、保護者の悩みや考えを共有できる場の提供ができていない。	まずは、不定期開催であっても来年度中には保護者会の開催ができるよう場を設ける。